

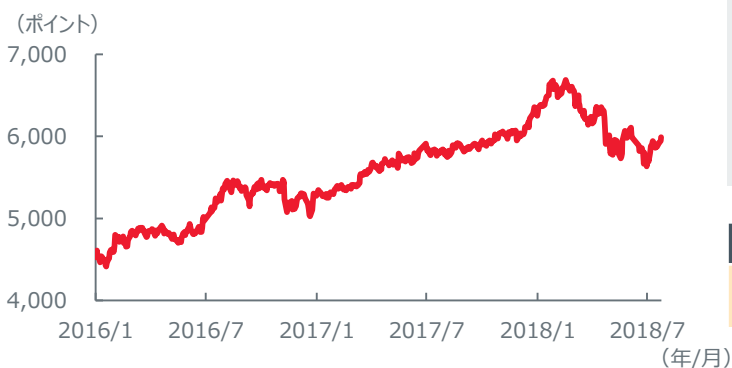
Indonesia Weekly

2018年7月30日



(対象期間：2018/7/23～7/27)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2018年7月27日)



【株式市場】

米欧の貿易摩擦懸念の後退などから、株式市場は上昇しました。火力発電用の石炭価格について、日本との間で1トン当たり110ドルの価格合意を受けて石炭株が上昇しました。また、さらなる規制緩和の発表への期待で不動産株も堅調となりました。セクター別では鉱業、基礎産業、化学が堅調となった一方で、農業、インフラが下落しました。

2018/7/20	2018/7/27	変化率
5,872.78	5,989.14	+1.98%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2018年7月27日)



【債券市場】

ルピアが対米ドルで回復傾向となったことや、CDSが縮小するなどリスクオフの姿勢が後退したことで債券市場に外国人投資家の資金流入が見られ、10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。インドネシア中央銀行(BI)は今週から翌日物金利の新たな指標となる「インドニア」を導入します。BI高官は「政策金利の信頼性が高まるよう、翌日物金利を今よりも主要政策金利に近づけたい」と述べています。

2018/7/20	2018/7/27	変化幅
7.879	7.748	-0.131

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2018年7月27日)



【為替市場】

トランプ大統領の米ドル高けん制発言などを背景にルピアは対米ドルで上昇して始まりました。その後も米欧の貿易摩擦問題の緩和期待などから米ドルが弱含みとなり、ルピアは狭いレンジながら堅調となりました。一方、7月30、31日に予定される日銀の政策決定会合での金融政策の見直し期待から円高傾向となったため、ルピアは対円では僅かに下落しました。

2018/7/20	2018/7/27	変化率
0.774	0.774	-0.04%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ